

平成30年度「うきは市子育てと教育を進める集い」ご案内

青少年育成県民会議筑後北地区研修大会

うきは市の未来を担う子どもたちが、“心豊かで健やかに育つ”ことを私たちは心から願っています。

しかしながら、子どもたちを取り巻く環境の急激な変化の中、「学ばず意欲」「自尊感情」「規範意識」「体力」等の低下など、子どもの成長に不安をもつ人も多く、子どもたち自身も様々な問題を抱えています。

そのような状況の中、学校だけに子どもたちの教育を任せたり、家庭や地域に責任を転嫁したりせず、私たち大人が家庭、学校・地域・社会と連携し一体となって、子どもたちの健全育成に取り組むことが大切です。

つきましては、「うきは市子育てと教育を進める集い」を下記のとおり行います。皆様の多数のご参加をお願いいたします。

うきは市青少年育成市民会議 会長 川原 唯 男



1. 日 時 平成30年8月18日(土)
受 付 13時～ 開 会 13時30分

2. 会 場 白壁ホール(吉井町1001-4)

3. 内 容

13:30 開 会 行 事

13:50 弁 論 発 表

『いじめは犯罪』 浮羽中学校1年 梶原 理子 さん

『これからの未来』 吉井中学校3年 江上 さくら さん

14:10 講 演

演題 「『自炊力』を育むために」

講師 九州大学持続可能な社会のための決断科学センター

准教授 比良松 道一 先生

1965年、福岡市生まれ。農学博士。福岡県農業総合試験場、九州大学附属農場、同大学院園芸学分野で、作物の品種改良や来歴解明に関する研究を行ってきた。2014年から社会問題の解決に貢献するプロフェッショナルリーダーを育成する「九州大持続可能な社会のための決断科学センター」准教授。

2006年、研究室の女子学生を通じて知った子どもがつくる「弁当の日」に感化され、食育に目覚める。当時、保護者会長を務めていた宗像市立河東小学校学童保育において、即、弁当の日を実践。学童保育所の弁当の日として全国初の取り組みとなった。共働き家庭や一人親家庭を中心とした現代の「共同の子育て」を充実する上で、弁当の日が大変有効な取り組みであることを実証した。現在、大学生から小学生、一般市民、子育て支援団体を対象とした食・環境・子育てに関する講義・講演・ワークショップは、年間60回を超える。九州大学で2013年より開講している「自炊塾」は、3ヶ月半で大学生の人生を変えるほどの影響力を持つ教育として注目される。



15:40 閉 会 行 事

4. 主 催 うきは市青少年育成市民会議 福岡県青少年育成県民会議筑後北地区協議会

5. 後 援 うきは市、うきは市教育委員会

6. 参加団体 自治協議会、保育協会、吉井幼稚園、小中学校長会、浮羽求真館高校、小中学校PTA、青少年補導員会、老人クラブ連合会、保護司会、民生委員・児童委員会、社会福祉協議会、体育協会、文化協会、うきは警察署

☆託児あり(予約制、無料、8月9日(木)までに電話にてお申込みください)

【申込問合せ】うきは市教育委員会 生涯学習課社会教育係 75-3343